

赤十字防災セミナー「短期講習」「オンライン講習」一覧

No.	短期講習名	内容	標準時間数	準備物	教材費等
B1	災害への備え (講義形式)	自然災害や感染症による被害からいのちを守り、その後の暮らしをつなげるために、日頃からできる備えを理解する。	60分～	プロジェクター スクリーン	「災害への備え」 (支部印刷対応)
B2	災害エスノグラフィー (グループワーク含む)	被災者の体験談を通じて災害を追体験し、被災の具体的なイメージや災害の全体像を理解する。	60分～	プロジェクター スクリーン	
B3	災害図上訓練(DIG) (グループワーク含む)	地域の危険性や防災資源を把握し、地図を囲んで意見交換しながら、災害時に起こることや被害を減らすためにできることを理解する。	120分～	ホワイトボード プロジェクター スクリーン	
B4	家具安全対策ゲーム(KAG) (ペアワーク含む)	自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、家の危険な場所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。	30分～	プロジェクター スクリーン	
B5	ひなんじょ たいけん (グループワーク含む)	避難所を作るカードゲームを通じて、避難所生活の一部を体験し、避難者の目線で心がけることや支え合いの大切さを理解する。	90分～	プロジェクター スクリーン	
B6	大雨・台風の避難スイッチ (ペアワーク含む)	大雨・台風の避難リスクを把握し、こころの働きも踏まえて、避難の判断や早めの備え・行動のポイントを理解する。	60分～	プロジェクター スクリーン	
B7	応急手当 (救急法のFA1～FA6を中心とした内容です。B1～B5と組み合わせで実施します。)	身近なものを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた電気ショック等)を学ぶ。	120分～	救急法FA1～FA6に準ずる ※救急法以外の短期講習との組み合わせを ご希望の場合は講習係に ご相談ください。	

*B1災害への備えは、「地震」「地震・津波」「大雨・土砂災害」から選べます。

*原則として、受講者10名以上で実施してください。

*指導者の派遣人数は受講者数と内容によって決定します。(B1:1名、B2及びB3:2名以上)

*教材費はプログラム内容に応じて負担をお願いします。

*指導者派遣料(1人1日@5,000円以上、4時間未満)及び必要な資材の搬送経費等は、申請者の負担となりますのでご了承ください。(地区区分主管で、対象者が赤十字地区区分職員、赤十字奉仕団員、青少年赤十字加盟校等は免除となります。)

*講義・グループワークができる会場が必要です。

○防災セミナー 活用例

地域コミュニティ(自治会・老人クラブ・民生委員等)、地域の防災訓練、学校の授業での講演等にご活用ください。

- ・地域での会議等の後に、赤十字防災セミナーを組み合わせで実施するも可能です。
- ・「災害への備え」(講義)+「災害図上訓練(DIG)」(グループワーク等)で組み合わせる。
- ・「災害への備え」(講義)+「災害エスノグラフィー」(グループワーク等)で組み合わせる。
- ・「災害図上訓練(DIG)」又は「災害エスノグラフィー」を単独で実施する。

※組み合わせや実施時間等については救護課講習係にご相談ください。

NO.	オンライン講習名	内容	標準時間数	準備物
WE-B1	防災セミナー 「災害への備え」	自然災害や感染症による被害からいのちを守り、その後の暮らしをつなげるために、日頃からできる備えを理解する。	60分～	資料を事前にメール送信

*受講者5名以上で実施してください。

*接続は指導員を含めて100台までの制限があります。(指導員で1～3台使用します。)

*受講料 無料(参加にかかる通信機器・通信料等は主催団体で対応願います。)

*原則として、平日10時～17時の時間帯の中で実施してください。